

## のとしん総合サービス㈱ 環境行動計画

### 取組方針

当社は、豊かな自然に恵まれた能登をはじめ、いしかわの環境を保全し次世代に引き継いでいくため、環境保全の重要性を認識し、自らの事業活動に伴う環境負荷の低減に取り組むとともに、環境にやさしい事業所づくりをめざすことが、企業の社会的責任(CSR)であるとの考えから、以下のことについて取り組んでいきます。

- ① 事業活動に伴う省エネルギーと省資源への取組
- ② 廃棄物の削減とリサイクルの推進
- ③ 地域環境保全活動の取組

この方針に基づいて職員一人ひとりが高い環境意識を持ち、自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全職員に周知します。

平成22年12月22日

のとしん総合サービス㈱

代表取締役 寺西 孝太郎

### 3. 環境負荷低減の取組目標及び具体的な取組項目

当店では、事業活動に伴う環境負荷を低減するため、取組目標及び具体的な取組項目を設定して行うこととします。設定した目標及び取組項目は、以下のとおりです。

【目標1】電気使用に伴う二酸化炭素の排出量を、21年度を基準に23年度までに2.4%削減する。

#### 【具体的な取組】

- ① 室内温度を適温に設定する。(参考：冷房26度、暖房22度)
- ② 給湯室、通路等人のいない場所の消灯を徹底する。
- ③ 人のいない場所の空調機の電源OFFを徹底する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ カーテン、ブラインドを利用して冷暖房の効率を高める。
- ⑥ 窓側に必要な照度が確保できる場合はできるだけ消灯する。
- ⑦ クールビズ・ウォームビズの実施。
- ⑧ ノー残業デーの実施。

【目標2】ガソリン使用に伴う二酸化炭素の排出量を、21年度を基準に23年度までに2%削減する。

#### 【具体的な取組】

- ① エコドライブに取り組む。
  - ・ 停車時のアイドリングストップ
  - ・ eスタート(やさしい発進)
  - ・ 経済速度での運転
  - ・ 余裕を持った車間距離、加減速の少ない運転
  - ・ 給油時のタイヤ空気圧のチェック
- ② 渉外活動の効率化を図る。
- ③ 渉外活動に行く際は、携行品のチェックを徹底する。
- ④ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ⑤ 車両の点検を定期的に行う。

【目標3】廃棄物の排出削減とリサイクルの推進に努める。

なお、廃棄物の排出量の測定と取組目標については今後検討する。

#### 【具体的な取組】

- ① ゴミの分別を徹底し、リサイクルに努める。
- ② 製品をできるだけ長期間使用する。
- ③ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ④ グリーン製品の使用に努める。
- ⑤ ファイル、ホルダーなどは繰り返し使用する。

【目標4】コピー用紙の使用量を、21年度を基準に23年度までに2%削減する。

【具体的な取組】

- ① コピーをする際は、その必要性を十分考えてコピーする。
- ② コピー機のスタートボタンを押す前に、必ず設定状況(枚数、濃度等)を確認しミスコピーをなくす。
- ③ コピー終了の際は、次の人のミスコピーを防ぐため、リセットボタンを押すことを励行する。
- ④ 回覧等内部で使用する文書は、両面コピー、縮小コピー、裏面コピーに努める。
- ⑤ 顧客情報等を含まないコピー用紙の裏面活用を図る。
- ⑥ コピー機のガラス面は、常にきれいにしておく。
- ⑦ コピー機やプリンターのそばに再利用紙専用トレイを置き、再利用紙の活用を図る。

【目標5】地域の環境美化活動の取組

【具体的な取組】

- ① 年2回石動山での森づくり活動を行う。
- ② 毎月のボランティアデーに店舗周辺等の清掃美化活動を行う。
- ③ 地域の環境保全活動を行う。

#### 4. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境保全活動の責任者を中心に組織的に取り組むとともに、その進捗状況を定期的にチェックします。